

ランドソリューション 通信

2025年

9 月号

サステナビリティ情報開示に関する新サービス

企業に対して

- 環境デュー・ディリジェンス実施
- サステナビリティ情報開示

への要求が強まっています



さまざまな背景

ESG投資の拡大 M&Aの際のESG対応

大企業のサステナビリティ調達基準からの要求

日本のサステナビリティ開示基準(SSBJ基準)公開
(プライム上場企業に対して2027年3月期より順次適用予定)

EUの企業サステナビリティ報告指令(CSRD)と
企業サステナビリティ・デュー・ディリジェンス指令(CSDDD)の発効

土壌汚染についても、企業の抱える**リスクの特定・評価・対処**ならびに**情報開示**が
市場から求められる可能性があります！

土壌汚染リスクの特定・評価・対処および情報開示を支援します

このプロセス図に沿って環境デュー・ディリジェンスを継続的に実施することで
土壌汚染リスクについて**定期健康診断**を行い市場からの要求に備えることができます

⑤影響にどのように対処したか伝える

支援メニューその5
情報開示支援
コンサルティング

②環境への負の影響を特定し評価する

支援メニューその1
地歴調査による
リスクの定性評価

支援メニューその2
サンプリング調査

③負の影響を
停止、防止、軽減する

支援メニューその3
拡散防止措置や
除去・浄化等の対策工事

④実施状況および結果を
追跡調査する

支援メニューその4
地下水揚水時の分析や
地下水モニタリング

①
経営方針への統合

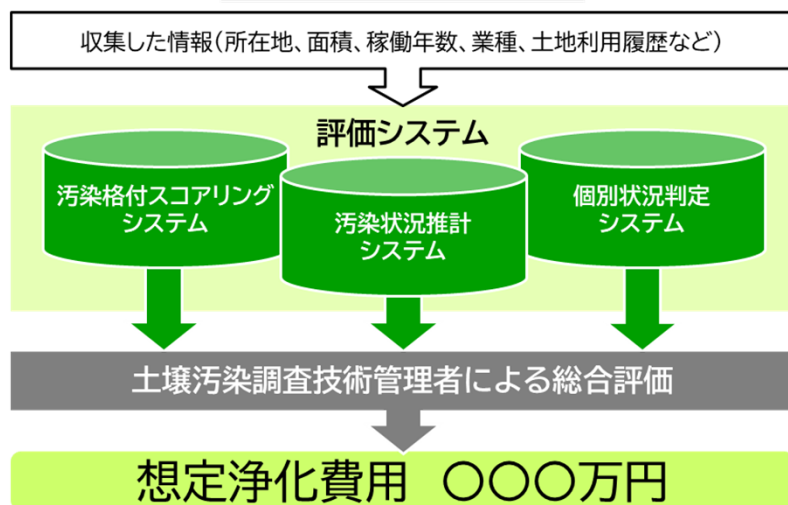
【環境デュー・ディリジェンスのプロセス図】

「責任ある企業行動のための OECDデュー・ディリジェンス・ガイダンス」を
参考にしてランドソリューションが作成

土壌汚染リスクの定期健康診断に付帯できるオプションサービス

事業推進に際して、専門家として最適な進め方をご提案します

土壌汚染リスク簡易評価の仕組み



① 土壌汚染リスクの定量化

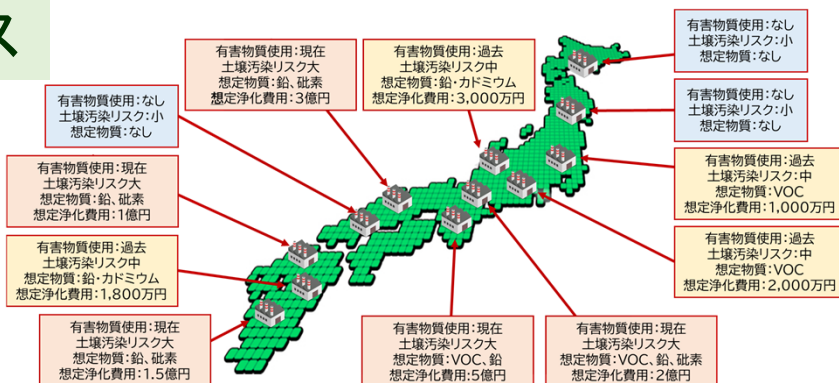
膨大なデータベースを用いた
独自の評価ロジック※1により
想定浄化費用を算出

※1 大手金融機関向けサービスとして開発された
評価システムであり、客観的に想定浄化費用を算出
できます

② 環境リスク見える化サービス

事業場ごとに実施した定性評価&
定量化の結果を一覧化※2

※2 法律や自治体ごとの独自ルールあるいは
他社事例等を踏まえた評価が可能であり、リス
クの解像度を高められます

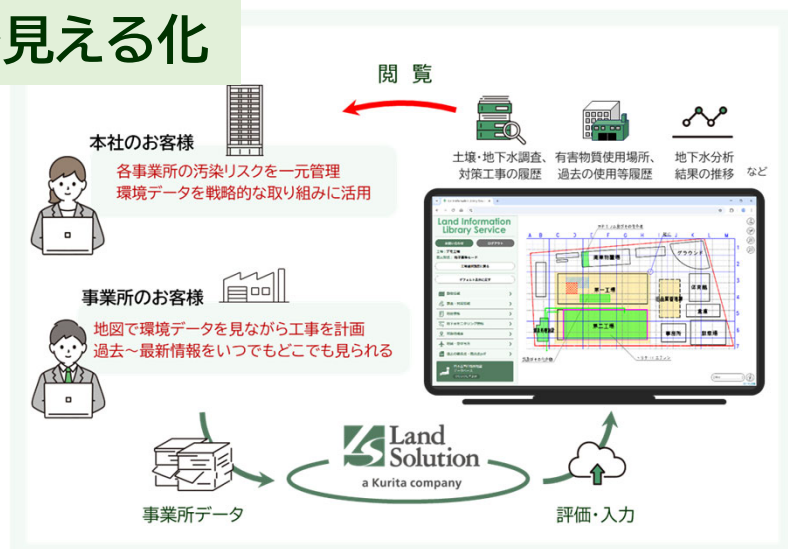


③ 土壌汚染に関する情報をITで見える化



情報・資料の一元管理&WEB上で
状況把握※3

※3 大量に存在する紙の報告書の管理から解放され
るだけでなく、環境データを蓄積・社内共有し戦略的に
活用するDXツールとしてご利用いただけます



環境デュー・ディリジェンスといえば、従来はM&Aの際に行われ
る環境評価の手法でしたが、今やその枠を拡げて、汚染可能
性の有無や、可能性ありの場合の修復コスト等について普段
から把握するための重要な取組となっています。
SSBJ基準のような法規制も始まろうとしています。
詳しい説明をご希望の場合は営業担当者へご連絡ください！

ランドソリューション株式会社

本社 TEL:03-5412-6700
大阪事務所 TEL:06-6220-1377
名古屋事務所 TEL:052-203-2852
<https://www.landsolution.co.jp/>